

### 第3回 久留米市生涯学習センター等指定管理者候補者選定委員会 会議録

日 時：令和元年10月8日（火）17：00～18：30

場 所：えーるピア久留米 209研修室

出席委員：西村信二委員、江村理奈委員、梶原加寿子委員、  
笠一生委員、木下等委員、土居美佳委員（全員出席）

#### 1 開会

面接審査の進め方等の確認を行った。

#### 2 面接審査

書類審査を通過した1団体について、提案内容についての趣旨説明を聴取し、委員による質疑応答を行った。その概要は以下のとおりである。

- 委員 公の施設の指定管理者として、生涯学習センターの管理運営を行う意義や目的について、どのように把握しているか。
- 申請者 公の施設の運営を行うにあたっては、幅広い市民の方々に公平、公正に利用していただくことが大切であると考えている。また、4つのセンターの複合施設であるえーるピア久留米の利点を活かし、施設間での連携を含めたところでの事業展開を行っていきたいと考えている。
- 委員 近隣住民への理解が得られるような対応に努める、ということについての考え方は。
- 申請者 開館時間が夜の21時30分までということで、駐車場からの車の出入り等について、適切な人員配置を行う等の対応をしながら、近隣住民の方々の迷惑とならずにご理解いただくような配慮に努めていきたいと考えている。
- 委員 アンケートなどの意見に沿って改善を行った時に、それが利用者に伝わるようにした方がいいと思うがどうか。
- 申請者 アンケートについては、定期的であったり各事業毎であったり、また、ご意見箱を設置して、利用者の声を反映させるように努める。委員おっしゃる通り、今後はその意見によって改善を行った場合などには、積極的にお知らせを何らかの形でしていきたいと考えている。
- 委員 シニア層の取り込みについて。シニア層というのは学習だけではなく、社会の孤独からの脱却や仲間づくりといった側面も、生涯学習事業には求められると思うが、どういった形で取り込みを行おうと考えているか。
- 申請者 近年、60歳以上になっても仕事を続ける等、社会情勢が変化してきている。いままでのシニアカレッジ等の高齢者向けの事業は、平日の午前午後の時間で学習していただくような形であったが、それでは人が集まらない現状があった。今回の新提案では、年齢や時間の制限を緩和した事業体系を取っており、より受講しやすく、仲間づくりがしやすいような取り組みを行っていききたいと考えている。
- 委員 事業の発案はどういうものを参考にしているのか。
- 申請者 全国の生涯学習センターと連携を取って情報収集を行い、新しい取り組みなどを取り込んでいる。また、雑誌やテレビ等のメディアにもアンテナを張り、いろいろな事を各職員が日頃から吸収するように努めている。
- 委員 生涯学習事業を行っていく際の、久留米市での課題について、どのように考えているか。
- 申請者 久留米市の地域課題としては、やはり人口減少傾向、超高齢化社会の進行が課題であると認識している。今後も進行していくと予想されるこれらの課題に対応し、利用者の皆

さんが学んだことを、地域の皆さんに還元していくことができるような、知の循環の仕組みづくりに力を入れていきたい。

委員 社会教育主事の活用をどのように考えているか。

申請者 配置される正規職員全員が社会教育主事の資格を持っており、その職員が、ただ生涯学習事業を計画するだけではなく、嘱託、パート職員に対しても、OJT等で質を向上していくような役割も担う形での配置を考えている。

委員 収益の確保についての考え方は。

申請者 自主事業でしっかりと人気のある事業を行い、参加者を確保していく。また今後は、一般の利用者の方々が使用されない部分が、稼働率から見ると20パーセント弱あるので、企業利用等も視野に入れたところで、回転率を上げていく方策について検討していきたいと考えている。

委員 支出について、修繕費の今後の計画が、過去の実績からすると少なく抑えられている印象だが。

申請者 リース期間が終了する物件については再リースを行うなど、長い期間機器を使っていく努力をするなどして、支出を抑えていく運営を行っていききたいと考えている。

委員 社会教育主事を4名配置ということだが、それ以外の職員について、選考を行う際の考え方があれば教えていただきたい。

申請者 嘱託職員、パート職員の採用については、施設管理の経験がある等、今まで培った経験をさらに活用するような形での採用を行っていくような形を考えている。

委員 毎年社会主事講習などもあつたりしてるが、嘱託職員、パート職員に講習を受講させたりという考えはあるか。

申請者 社会教育主事講習については、講習期間が1ヶ月近くあること、研修費等がかかってくることなどがあり、嘱託職員、パート職員に受講させるのは難しいと考えている。資格を持っている職員が、OJTなどの職場研修を通してしっかりと教育を行っていききたいと考えている。

委員 今後5年間の生涯学習センターの管理運営について、全体的な考え方を教えてほしい。

申請者 生涯学習センターとしてやるべきことについては、自発的な学びにつながるきっかけづくりというものが大事であると考えている。学習主体との協働・連携を図り、学びの輪を広げていき、学習者一人一人が自分で芽を出して、自立できるようなところまでしっかりとサポートできるような事業展開を行っていききたいと考えている。

### 3 議事

#### (1) 優先交渉権者（指定管理者候補者）の選定について

各委員から審査票を回収し、事務局で集計した結果について確認・協議のうえ、優先交渉権者を決定した。なお、決定にあたって、以下のような講評を行った。

- ・応募者に関しては、これまでの経験があるということで、安定した事業計画を作成しているといった印象を受けた。今後も頑張っていたきたいと思う。
- ・やはり18年の実績があるということで、それが委員全員、安定した高い評価につながったのではないかと思っている。
- ・公平性を重視している点、これまでの実績に基づいた事業計画を作成している点が素晴らしいと感じた。久留米市独自の課題をもう少し分析すると、よりよい運営につながっていくのではないかと感じた。
- ・これまでの長い実績でも、素晴らしい実績を残しているなと感じた。それと同時に、財政面では、長くなると施設の老朽化や利用者の取り込みなどで、少し苦勞をされているような感じも受けた。そこをクリアし、常にリフレッシュしながら運営を行っていただきたいなと感じた。

- ・適切に施設の管理運営が行われている印象を受けている。社会教育主事を4名配置するというこ  
とで、これが増えていけばいいと思うが、OJTなども活用して運営を行っていくというこ  
とで、その充実期待したいと思う。
- ・長期安定性というのは、安全安心が担保されていいと思う。一方、実際経営する中でいろいろ  
な問題も浮上してきているなという印象も受けた。新しい視点というものをもっと出していけば、  
よりよい運営ができるのではないかと感じた。

#### 4 その他

今後の予定について事務局から説明を受けた。

#### 5 閉会